

5月 ひとり1改革運動 5月

「ICTの利活用で、事務の効率化や県民サービスの向上を図ろう！」改革賞

最速0.1秒で集約！大量な財産関係資料のICTによる有効活用

【経営管理部財務局管財課財産管理班】



おめでとう!

700ページに及ぶ「財産事務の手引」や、財産管理班が日々の業務で作成した過去の対応事例などの資料の検索に時間がかかっていました。

そこで、財産関係資料をデータベース化し、必要な情報へのアクセスの迅速化を図りました。

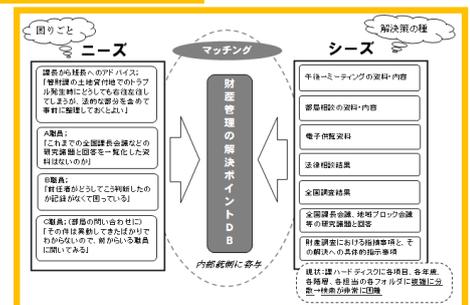
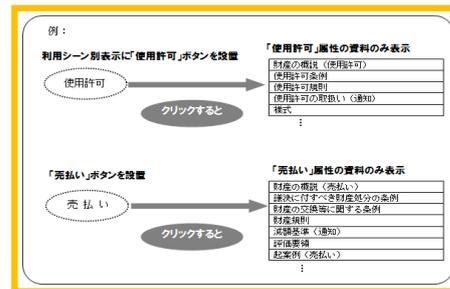
「財産事務の手引」データベースに利用シーン別に表示するボタンを設置し、必要な資料の集約表示を可能にするなど、情報検索の時間を短縮するとともに、「財産管理の解決ポイント」データベースに過去の対応事例などを集約し、担当者間で情報共有することで、事務の効率化を図ることができました。

取組にあたって留意した点、工夫した点は？

利用シーン別に手順を確認したい際、その説明が様々な場所に点在していることから、管財課職員でも資料の必要な部分にたどり着くことが難しい状態であったため、データベース化にあたっては、ユーザー目線での利用を重視し、利用シーン別の集約機能を設けたことで、一瞬で関連資料のみを表示させることが出来ます。

今後の取組は？

各所属の財産管理担当者の負担軽減を図るため、「財産事務の手引」データベースを今夏に全庁公開する予定です。



【静岡大学 学術院人文社会科学領域 牛場 智 准教授 から一言】

データベース構築には、技術面だけでなく使用者の視点が重要であり、そのことで情報が価値化します。本事例は「必要な情報に素早く到達する」というUX（ユーザーエクスペリエンス）に基づいた発想を「利用シーン別に表示する」などUI（ユーザーインターフェイス）までに落とし込まれた好例と言えます。